

# 令和3年度 大阪府 国民健康保険事業 決算概況のポイント

## 1 単年度収入の構成は、公費(国費及び府費)が約 38%、事業費納付金(保険料等)が約 32%、前期高齢者交付金(他保険者からの支援金)が約 30%

・公費(国庫支出金、特別高額医療費共同事業交付金、府一般会計繰入金)	3,191 億 30 百万円(38.03%、対前年比 0.43 ポイント減)
・事業費納付金(保険料等)	2,709 億 26 百万円(32.28%、対前年比 0.07 ポイント減)
・前期高齢者交付金	2,487 億 37 百万円(29.64%、対前年比 0.46 ポイント増)

※ 国庫支出金(2,657 億 36 百万円)の内訳

療養給付費等負担金 1,729 億 94 百万円、高額医療費負担金 78 億 48 百万円、特別高額医療費共同事業負担金 5 億 30 百万円、  
 特定健康診査等負担金 8 億 36 百万円、普通調整交付金 637 億 40 百万円、特別調整交付金 109 億 86 百万円、保険者努力支援制度交付金 88 億 1 百万円

## 2 単年度支出の構成は、保険給付費等が約 79%、後期高齢者医療への支援金が約 13%、介護保険への納付金が約 5%

・保険給付費等交付金及び特別高額医療費共同事業	6,708 億 65 百万円(79.41%、対前年比 0.47 ポイント減)
・後期高齢者支援金等	1,102 億 30 百万円(13.05%、対前年比 0.58 ポイント減)
・介護納付金	426 億 70 百万円( 5.05%、対前年比 0.35 ポイント減)

## 3 単年度収支差は、55 億 78 百万円の赤字、基金繰入金(3 億 7 百万円)及び昨年度繰越金(257 億 56 百万円)の活用、 基金積立(12 億 67 百万円)後の次年度繰越額は、192 億 18 百万円

- ・次年度への繰越額(192 億 18 百万円)は、令和3年度末における「形式的な」資金収支差。
- ・療養給付費等負担金、退職者医療交付金及び高額医療費負担金は、年度の初めに当初交付決定し、年度中に数回に分けて交付され、額の確定及び精算は翌年度(令和4年度)に行う。このため、概算交付分が過大となっていた場合は、返還額が生じる。

療養給付費等負担金	<b>返還額 ▲113 億 79 百万円</b>
退職者医療交付金	<b>返還額 ▲2 億 44 百万円</b>
高額医療費負担金	<b>返還額 ▲56 百万円</b>

**返還額合計 ▲116 億 79 百万円**

⇒ 大阪府分の令和3年度の実質的な歳出規模は、8,577 億 8 百万円(8,460 億 29 百万円+116 億 79 百万円)となり、  
 収支差引残は、75 億 39 百万円(0.88%)の黒字。

※ 出典:事業年報B表(令和5年3月1日時点)

※ 単位:百万円、%(小数第2位まで) 単位未満四捨五入により合計値は合わない場合がある。

# 令和3年度 大阪府内 43 市町村総計 国民健康保険事業 決算概況のポイント

## 1 単年度収入の構成は、都道府県支出金(普通交付金含む)が約 71%、保険料収入が約 18%、一般会計繰入金が約 10%

・都道府県支出金(うち普通交付金)	6,702 億 83 百万円(6,550 億 85 百万円) 70.89%(対前年比 1.18 ポイント増)
・保険料収入	1,734 億 54 百万円 18.35%(対前年比 0.48 ポイント減)
・一般会計繰入金	957 億 31 百万円 10.13%(対前年比 0.30 ポイント減)

## 2 単年度支出の構成は、保険給付費が約 69%、国保事業費納付金が約 29%、総務費が約 1.6%

・保険給付費	6,466 億 33 百万円 68.69%(対前年比 0.82 ポイント増)
・国保事業費納付金	2,709 億 26 百万円 28.78%(対前年比 0.71 ポイント減)
・総務費	152 億 54 百万円 1.62%(対前年比 0.13 ポイント減)

## 3 純資産(資産－負債)は、黒字 41 市町村(467 億 6 百万円)、赤字 2 市町村(▲14 億 20 百万円)

うち、収支差引額では、黒字 42 市町村(151 億 79 百万円)、赤字 1 市町村(▲13 億 55 百万円)

単年度収支差は、黒字 27 市町村( 58 億 19 百万円)、赤字 16 市町村(▲16 億 82 百万円)

- ・単年度収支差の黒字は、2年度 120 億 42 百万円 → 3年度 58 億 19 百万円(▲62 億 23 百万円 51.68%減)となっている。
- ・単年度収支差の赤字、16 市町村のうち 15 市町村は、前年度繰越金等の活用により収支差引は黒字となっている。
- ・純資産は、2年度 411 億 53 百万円 → 3年度 452 億 86 百万円(+41 億円 33 百万円 10.04%増)となっている。

※基金等保有額及び次年度繰越額の増減について

基金等保有額は、2年度 242 億 38 百万円 → 3年度 316 億 12 百万円 (+73 億 74 百万円 30.42%増)

次年度繰越額は、2年度 187 億 24 百万円 → 3年度 151 億 79 百万円 (▲35 億 45 百万円 18.93%減)

⇒市町村総計としては、資産が増加するとともに、累積赤字は縮減している。

※ 出典:事業年報B表(令和5年3月1日時点)

※ 単位:百万円、%(小数第2位まで) 単位未満四捨五入により合計値は合わない場合がある。